

日用品で防災サバイバル

報告レポート

令和4年10月2日（日）に、中郷ふるさと交流館で、身近にある日用品で災害から身を守る方法を学ぶ「日用品で防災サバイバル」を開催し、28名の方に参加いただきました。

講師として、大学講師や学芸員など様々な方面で活躍されている野村豊氏をお招きし、防災に関する幅広い内容の講義をしていただきました。中高生が活躍する避難所やトイレがきれいな避難所は良い避難所である、といった震災ボランティア経験のある野村氏ならではの豆知識や、防災用品だけを使ってキャンプをする「サバイバル風デイキャンプ」やツナ缶を使って簡単に作れるろうそくなどの実践的な内容や、江戸時代の長屋の火事への賢い備えといった興味深いお話を、参加者は食い入るように聞いておりました。



▲講師の野村氏



▲野村氏の講義の様子

野村氏の講義の後は、実際に段ボールを使って避難所での生活を快適にするグッズを工作しました。一つ目は、収納もできて頑丈な「段ボールイス」を工作しました。こちらの「段ボールイス」は二枚の段ボールを組み合わせて簡単に作ることができるうえ、大人が座っても壊れないほど頑丈なため、参加者からも驚きの声があがっておりました。

二つ目は、避難所でのプライバシーを保つための「パーテーション」です。こちらは、複数枚の段ボールを組み合わせて作るもので、参加者同士が協力して工作する場面も見られ、和気藹々とした雰囲気となりました。



▲段ボールで工作する様子



▲「段ボールイス」
大人が座っても潰れません！



▲「段ボールパーテーション」
しっかり自立します！

工作のあとは、参加者それぞれに配られた災害のシチュエーションカードごとにグループになり、それぞれのシチュエーションに対して何を用意すべきかを考えるグループワークを行いました。「水」や「手回しラジオ」、「懐中電灯」、「スマートフォン」などは、どのグループでも共通して必要だと答える一方で、「花の蜜」や「木の葉っぱ」、「タイヤ」などユニークな答えもありました。

グループワークの後は、それぞれのグループでどのような意見が出たかを、消防団員の方からの専門知識を活かした貴重な意見やアドバイスをいただきながら、共有する時間を取りました。

有事の際にはこんな日用品が役に立つ！といったアドバイスに参加者も興味津々の様子で聞いていました。



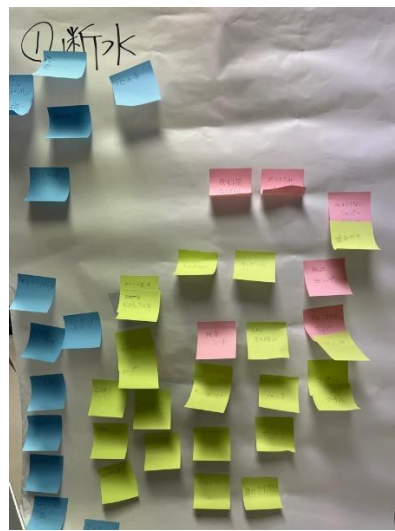
▲それぞれの意見を付箋に書き、
模造紙に貼り付けていきます



▲自身の経験をお話する消防団員の方



▲「大雪」のグループであがった意見
を紹介する野村氏



▲各グループ多くの意見が
出ていました

参加者からは、「防災についてあまり意識をしていなかったが、このイベントで意識が高まった。」「段ボールのいすを作るのが楽しかった。」「今後サバイバル風デイキャンプの体験ができれば、またぜひ参加したい。」といった好評をいただきました。

今後も、市民の皆様が楽しんでご参加いただけるようなイベントを企画いたしますので、奮ってのご参加お待ちしております。